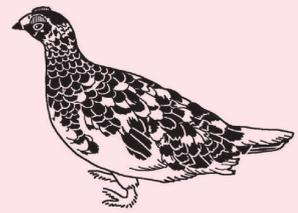


令和5年度 子ども会だより

らいちょう

62号



大北地方子ども会育成連絡協議会

目 次

会長あいさつ	1
役員名簿	2
今年度実施・参加した主な事業	3
令和5年度 大北地方子ども会育成フォーラム	
(1)「少年の主張 長野県大会」優良賞受賞作文	4
(2) 第25回 子どもフォーラム概要	6
(3) 各市町村の発表	7
各市町村の特色ある取組・事業（市町村事業報告）	
大町市	11
池田町	12
松川村	13
白馬村	14
小谷村	15
全国子ども会安全共済会に加入しましょう	16
大北地方子ども会育成連絡協議会規約	17

～表紙の写真～

【令和5年度 第25回大北地方子ども会育成フォーラム】

11月25日（土）に池田町交流センター「かえで」ホールで開催したフォーラムに参加した皆さんの写真です。

発表内容につきましては、4ページ以降に掲載しております。

会長あいさつ

大北地方子ども会育成連絡協議会 会長 百瀬 泰慶

今年度より大北地方子ども会育成連絡協議会の会長を務めます大町市子連の百瀬と申します。宜しくお願い致します。

さて、令和5年の11月に大北地方子ども会育成フォーラムが、池田町で開催されました。昨年度より大北5市町村の持ち回り開催となって第2回目のフォーラムです。今年度開催担当の池田町教育委員会の事務局にとっては、経験がない中での準備・運営と大変なご苦勞をおかけしたことに礼申し上げます。



この子ども会育成フォーラムは、大北地方の育成会活動の活性化を図る事業として実施されてきました。その意味で、持ち回りでの開催方式は、各地域での育成会活動の活性化につながる効果があると期待しております。次年度以降これからの開催市町村の中でその地域の特性を生かした運営プログラム(例えば子どもが主体となって行うアトラクションを取り入れるとか)といった工夫が出てきてもいいのかなと思います。また、参加した子ども達の交流を企画し、今回実施できたことは大変良かったと思っています。昨年度も企画しましたがコロナの関係で実施できませんでした。今年度実施してみて、子ども達の楽しそうな顔や、他市町村の友達との触れ合いが貴重な体験として得られたことは良かったと思います。

これからのフォーラムについては、各市町村の子ども達の参加人員を増やすことを考えられないかと思いません。体験発表の子どもだけが参加するのではなく各市町村の育成会メンバー(但し、大人ではなく子ども)が参加して、お互いの活動の情報交換が出来るような形が出来たらいいと思います。大北管内における子ども会同士の交流は、ほとんどないように思っております。フォーラムのような場を利用しての交流の機会があれば、その中で色々な人たちとの輪が広がり、市町村同士の交流にも繋がっていき、お互いの育成会活動の活性化に寄与できるように思います。

「大北は一つ」という言葉もあるように、まずは子ども達を中心とした育成会活動からはじまり、互いに手を取り合って活性化に向けての活動ができればいいと思っております。

結びに、令和5年度の子どもの会育成フォーラムの開催・運営にご尽力いただきました関係役員の皆様のご苦勞とご協力にお礼と感謝を申し上げます。

令和5年度 大北地方子ども会育成連絡協議会役員



前列左から 小山監事(池田町) 倉科副会長(松川村) 百瀬会長(大町市) 石野副会長(白馬村) 片山監事(小谷村)
後列左から 海川顧問(大町市) 田中顧問(池田町)

役員名簿

◆大北地方子ども会育成連絡協議会役員

役職名	氏名	出身団体役職名
会長	百瀬 泰慶	大町市子ども会育成連絡協議会会長
副会長	倉科 次雄	松川村子ども会育成会連絡協議会会長
〃	石野 真	白馬村子ども会育成会連絡協議会会長
監事	小山 勉	池田町子ども会育成会連絡協議会会長
〃	片山 真	小谷村青少年育成会会長
顧問	海川 明文	元大北地方子ども会育成連絡協議会会長
〃	田中 春輝	前大北地方子ども会育成連絡協議会会長

◆市町村子ども会育成連絡協議会等役員

市町村	役職名	氏名	市町村	役職名	氏名
大町市	会長	百瀬 泰慶	白馬村	会長	石野 真
	副会長	茅野 浩子		副会長	ケリー 沙絵
	〃	松澤 長		〃	宮田 修
	〃	松原 亨		事務局	太田 洋一
	〃	小浪 和正		〃	渡邊 宏太
	〃	北沢 孝一		〃	小島 麻衣子
	事務局	百瀬 肇	小谷村	会長	片山 真
	〃	伊藤 浩光		副会長	吉田 公美
	〃	西山 行信		〃	井上 宗高
〃	〃	〃		松澤 朋典	
池田町	会長	小山 勉	〃	石川 奈美	
	副会長	小坂 愛美	事務局	萩原 慶一郎	
	事務局	廣田 和也			
松川村	会長	倉科 次雄			
	副会長	草深 国芳			
	〃	平林 吉彦			
	〃	山口 かある			
	事務局	羽田 幹郎			

今年度実施・参加した主な事業

【令和5年】

- 4月17日(月)…大北地方子ども会育成連絡協議会名簿の提出依頼 (メール送信)
- 5月1日(月)…大北地方子ども会育成連絡協議会役員会通知発送 (メール送信)
- 5月16日(火)…長野県子ども会育成連合会 第1回理事会 (長野上水内教育会館)
- 5月19日(金)…大北地方子ども会育成連絡協議会会計監査 (大町市役所)
- 5月19日(金)…大北地方子ども会育成連絡協議会役員総会 (大町市役所)
- 5月24日(水)…県子連通常総会・県子連表彰 (長野ターミナル会館) 10時15分～12時
第45回長野県子ども会育成研究協議会 (同上) 13時15分～15時
「これからの子ども会のあり方について」 山本哲哉氏
- 6月3日(土)…県子連創立50周年記念講演会・記念式典 (ホテルメトロポリタン長野)
- 6月17日(土)…長野県子ども会第1回ジュニア・リーダーセミナー (長野県県民文化会館)
- 8月19日(土)…安全啓発指導者養成講習会 (初級) (旧上高井郡役所)
- 8月28日(月)…長野県子ども会育成連合会 第2回理事会 (長野上水内教育会館)
- 9月2日(土)～3日(日)
…長野県子ども会第2回ジュニア・リーダーセミナー (高遠青少年自然の家)
- 9月7日(木)…大北地方子ども会育成連絡協議会第1回役員会 (大町市役所)
- 9月12日(火)…県子連ユース・リーダー状況調査提出
- 9月20日(水)…令和5年度安全教育啓発事業助成金申請提出
- 10月3日(火)…大北地方子ども会育成連絡協議会第2回役員会 (大町市役所)
- 10月7日(土)…安全啓発指導者養成講習会 (初級) (伊那市生涯学習センター)
- 10月14日(土)…大北PTA連合会研究協議会 (白馬北小学校)
- 10月22日(日)～23日(月)
…第55回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会 (川越市)
- 10月23日(月)…大北地方子ども会育成連絡協議会第3回役員会 (大町市役所)
- 10月27日(金)～29日(日)
…第56回全国子ども会育成中央会議・研究大会 (札幌市)
大北子連元会長 海川明文氏 全国子ども会連合会表彰受賞
- 11月2日(木)…北アルプス広域連会長宛
令和6年度市町村への負担金及び補助金等の予算要求提出
- 11月25日(土)…第25回大北地方子ども会育成フォーラム (池田町交流センター「かえで」)
(大北地方子ども会育成連絡協議会第4回役員会フォーラム運営)

【令和6年】

- 1月31日(水)…大北地方子ども会育成連絡協議会第5回役員会 (大町市役所)
- 2月～ …「らいちょう62号」編集作業
- 2月29日(木)…地方子ども会ユース・リーダー活動助成金申請提出
- 3月7日(木)…長野県子ども会育成連合会 第3理事会 (長野上水内教育会館)
- 3月15日(金)…大北地方子ども会育成連絡協議会第6回役員会 (俵屋)
- 3月下旬 …機関誌「らいちょう62号」発行

「少年の主張 長野県大会」優良賞受賞作文

少年の主張長野県大会は昭和54年の「国際児童年」を契機に「子どもの主張大会」として始まりました。この大会は「心身ともに大きく成長する時期にある中学生が、日頃の生活を通じて考えていること、実践していることを意見や提言にまとめて発表することにより、青少年の自主性や社会性を涵養する」ことを趣旨としており、今年度は松川村立松川中学校で開催され、大北地域の代表として松川中学校3年 川口小優さん、白馬中学校3年 山崎涼介さんが推薦され、令和5年9月7日（木）に行われた県大会にて、共に優良賞をいただきましたので、その作品を紹介いたします。

「誰もが生きやすい世界を作るために」

松川中学校3年 川口 小優

私は、最近日本で悲しい出来事が多く起きるようになったと感じます。なぜなら、ニュースでは事故、殺人、自殺など心苦しい情報が毎日のように報じられているからです。その中でも、芸能人に関するニュースは人々に大きな影響を与えています。芸能人に限らず多くの人を傷つけてしまうのが、誹謗中傷です。それが原因で命を絶つ人も少なくありません。以前私は、周りの声によって自分の応援している人が活動できなくなってしまったという話を耳にしました。誹謗中傷は必ずしも人を死に追いつめることになるとは限りませんが、その人の生活に影響を与えるのは確かです。

ではなぜ、誹謗中傷や人の心を傷つけるようなことが起きてしまうのでしょうか。一つの理由として、世界的にSNSを使う時間が増えたことが原因だと思えます。コロナ禍で外出が難しくなっていたから、色々なアプリで情報を共有し合うことや世界に向けて情報を発信するようになる人が増え、傷つく人も同じように増えているのだと思えます。コロナウイルスも引き金となって、強いストレスや不安が膨らむことも多くなったのではないのでしょうか。その気持ちを解消できる一番身近な場所はインターネットです。インターネット上には簡単に悪口を書き込むことができますが、それと同時に人の命を奪うことにもつながってしまいます。SNSを利用している人は自分の意思で利用しているはずですが、誹謗中傷をするということはその人がやりたいと思ってやっていることを否定しているということです。誰も自分の好きな事ややりたい事を否定されたら良い気持ちはしないでしょう。だからこそ、自分だけではなく相手の立場になって物事を考えることはとても大切だと思います。芸能人の方も「人間」なので、どんな言葉もその人にぶつけていいという考えは変えていくべきです。

また、多様性が認められる社会に変化していることも誹謗中傷の増加につながっていると思えます。今は、誰が誰を好きになってもいいという考えが広がってきています。それによって人々の生きやすさや自由が広がったことは多くの人の助けになっていますが、同時に自分自身をさらけ出したことへの非難の声が上がっているのも事実です。様々な事情や理由があって相手を否定してしまう人、自分のストレスを発散したいがために悪質な言葉をぶつける人、どんな理由であっても、人の生き方を否定することは絶対にしてはいけないことです。

時代が変わっていくと人々の考え方も変わっていきます。時代の変化についていき、うまく利用できる人がいる一方で、どんどん変わっていく世界に気持ちが追いつかない人も中にはいます。価値観や物事への考え方の変動が激しい今の時代を生きていくためには、色々な人の意見を尊重し、自分自身も変わっていくことが大切です。また、悪口に頭を抱えている人を少しでも減らしていくためには、自分の気持ちや考えをしっかりと伝えること、人を傷つけてしまう前に自分の言動や行動に気をつけること、周りの人を何よりも大切にすることが私達のできる一番身近なことではないのでしょうか。誹謗中傷はネット上だ



けで起こることではありません。誰もが受ける可能性があり、反対に誰かを傷つけている立場になってしまうこともあります。たった一言でも簡単に相手を追いつめることができる言葉ですが、思いやりを持つことで誰かを救うこともできます。限りがある時間を誰かを傷つけるために使うのではなく、誰しもが自分らしく、笑顔で幸せに生きていける世界を作るために使っていきませんか？

「SNSでの誹謗中傷について」

白馬中学校3年 山崎 涼介

皆さんは、「誹謗中傷」という言葉を知っていますか？私は小学校4年生あたりから徐々に聞くようになり、最近では犯罪にまで発展するほど、大きくニュースにとりあげられるようになってきました。誹謗中傷による有名人の自殺報道も近年増加しています。私はよくSNSやそれに関するニュースを見ますが、その中には具体的な誹謗中傷の言葉が出てくることもあります。有名人への誹謗中傷の言葉を見ると、自分に向けられたものではないはずなのに、悲しくなるときがありました。それは自分の過去にトラウマがあるからだと思います。



私は、小学生のころにネットゲームでのいじめにあいました。それは、ネットの中だけではとどまらず、学校でもいじめられるようになりました。はじめは、悪口だけだったことが、だんだんとエスカレートしていき事実と異なるようなことまで言われるようになりました。そのときは、すごく心が痛くなって誰も信用できなくなったり、自分が嫌いになったりした時もありました。ですが、そのことを家族に相談すると、真剣に自分の問題に向き合ってくれて、家族の温かい言葉に、心の傷がだんだんと回復していきました。今では、いじめはありませんが、誹謗中傷の言葉を見たりすると心が痛くなるのが時々あります。

このことは、学校の中だけの出来事であり、自分にとってはまだ耐えられる範囲でした。しかしSNSで誹謗中傷を受けている人達は、全国のたくさんの人達から誹謗中傷の言葉を浴びせられています。それらの言葉の中には、「死ね」や「殺す」など身の危険を感じるような書き込みもあり、普段からおびえながら生活を過ごさなければいけない人もいます。もし、あの時のいじめが学校ではなく全国からのいじめだったら…と思うとどうも耐えられる気がしません。

そのような、全国からのいじめとして、大きく目立つのが有名人への誹謗中傷だと思います。世間からの印象があまり良くない有名人がSNSなどでたくさん誹謗中傷されているのをよく目にしたことがあります。その人たちの中には、耐えられなくなって自殺する人もいたりして、とても心苦しい思いになります。そんな人たちがいなくなるためには、相手の立場や気持ちを思いやる言葉を選択して発信しないといけなと思います。私も、いじめられたときには、一方的な思い込みや誤解による、たくさんの暴言を言われてすごく悲しい思いをしたことがあります。悲しむ人がいなくなるためには、相手の立場や気持ちを思いやる言葉を選択して発信すべきだと思います。

SNSでは様々な情報が飛び交います。自分の意見を発信したり、人のためになる情報を発信したりすることが誰でも簡単にできるようになっています。知りたいことをすぐに調べることができ、それに対して自分の意見を言うことができる。それがSNSの良いところだと思います。

しかし、簡単に発信できるということは、簡単に人を傷つけたり、だましたりすることもできてしまうということでもあります。言葉について深く考えずに発信してしまうと、その言葉で人を傷つけてしまい、心を病んでしまう人や自殺をしてしまう人などができてしまいます。誹謗中傷の言葉はナイフと同じようなものであり、簡単に人の命を奪うことができます。

かつて、家族に救われた私のように、言葉によってできた傷は、言葉によって、治すことができると思います。だからこそ、SNSでは、言葉をナイフとして、人に突きつけるのではなく、相手のことを思いやった言葉や、応援になるメッセージを多くの方が発信していくべきだと思います。簡単に発信できる言葉に責任をもって誹謗中傷がない社会になっていけばいいと思います。

令和5年度 第25回大北地方子ども会育成フォーラム

「大北地方子ども会育成フォーラム」は、各市町村の子ども会の活動発表を通して、望ましい子ども会活動のあり方を学び合いながら今後の充実を図る催しで、今年で25回目を数えます

新型コロナウイルス感染症のため、令和2年度は中止、令和3年度はオンラインでの開催となりましたが、昨年度は小谷村を会場とし3年ぶりに会場に集まって開催しました。本年度は池田町を会場とし通常通り開催することができました。

参加された皆様のご協力により無事開催できましたことにお礼申し上げます。

日 時：令和5年11月25日（土）13：30～15：50

会 場：池田町交流センター「かえで」ホール

次 第

1 開会

(1) 開会の言葉

(2) 主催者あいさつ

2 子どもフォーラム

発表者：各市町村子ども会代表の皆さん

司 会：大北地方子ども会育成連絡協議会 監事 小山 勉

発表内容テーマ

大田市美麻地区子ども会育成会……………『地域の人と楽しむ美麻の子ども会行事』

松川村北部地区子ども会育成会……………『2023年 夏のお楽しみ会 活動報告』

白馬村どんぐり区子ども会……………『ウォーターフェスティバル IN白馬に参加して』

小谷村青少年育成会……………『JR大糸線に乗って、水族館へ行こう！』

池田町高瀬橋南地区育成会……………『とんぼ玉づくり体験をして』

3 「少年の主張 長野県大会」優良賞受賞作文発表

テーマ「誰もが生きやすい世界を作るために」

発表者：松川村立松川中学校3年 川口 小優さん

テーマ「SNSでの誹謗中傷について」（録画発表）

発表者：白馬村立白馬中学校3年 山崎 涼介さん

4 交流会（児童・生徒によるレクリエーション活動）

5 写真撮影

6 閉会

(1) 閉会の言葉

大町市の発表 《美麻地区子ども会育成協議会の皆さん》

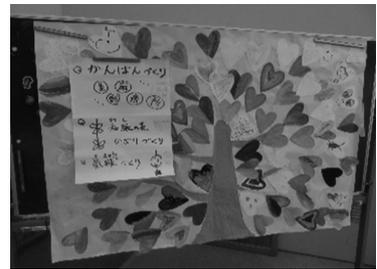
『地域の人と楽しむ美麻の子ども会行事』

令和5年度の5月、新型コロナウイルス感染症が5類分類になったことにより、大町市では、各地域の子ども会育成会行事が、少しずつ行われるようになってきました。

コロナ禍以前、大町市では本フォーラムで、市内各地区子ども会の特色ある事業・行事を市内6地区持ち回りで発表していました。各地区での行事が復活してきたことから、本年度は従来の形に戻し、美麻地区子ども会育成協議会の皆さんが発表しました。

「お手伝いし隊」の活動

春休みと夏休みに2回ずつ「お手伝いし隊」の活動を行っています。「お手伝いし隊」とは、お年寄りや障害のある皆さんとボランティア交流をしたり、地域の皆さんのお役にたつことをやったりしています。春休みのお手伝いし隊では、みあさ保育園の卒園式の飾りつけをやってきました。夏休みのお手伝いし隊では、美麻診療所の飾りつけをし、診療所に来た患者さんを元気に出来たと思います。



夏休み「犀川でのラフティング」

ゴムボートに乗って犀川をくだります。途中、パドルで水をかけあったり、ボートから川へ飛び降りたりしました。ボートにあがるのがめっちゃたいへんでした。波のはげしいところでは、ゴムボートにしがみつかないと落ちるくらいでした。ガイドの人が川に入ってはダメな所も教えてくれたので楽しかったし、勉強になりました。



各地区子ども会の行事

私が住んでいる美麻大塩地区ではどんど焼きを地域の人と協力してやっています。子ども達が正月のお飾りをあつめ、ベテランのおじさんたちが竹や藁やススキを組んでくれます。その中にお飾りを入れ、年女・年男の人が火をつけます。大きな火になってとても熱いです。

僕が住んでいる、青具・千見地区の子ども会では8月末に黒部ダムへ行きました。山なので涼しいと思ったら、天気が良くて暑かったです。黒部ダムができてから60年がたつそうです。電気バスを降りてから、ダムまでの間はずっと階段で足が疲れました。ダムの水が出ている所は、虹がでてとてもきれいでした。ダムは写真で見たよりでかくて、道はとても長かったです。奥にはでかいトンネルがあり、進んで行くにつり橋もありました。トンネルの中は涼しく、声や足音が響きました。帰る途中、マスコットキャラクターと写真を撮りました。



松川村の発表 《松川村北部地区子ども会育成会の皆さん》

『2023年 夏のお楽しみ会 活動報告』

《松川村北部地区子ども会育成会 平林愛梨さん》

北部区の夏のお楽しみ会では、ちひろ公園にある体験交流館で、地域の人や保護者の皆さんを交えて、様々な体験をしました。ピザやおやき作り、火起こしをしました。このような体験をする中で、地域の人々などと関係を深めたり新しい知識を取り入れることができました。今年の夏は成長できる時間を過ごすことができました。

《松川村北部地区子ども会育成会 荻久保快さん》

ピザ作りでは、まず下の生地から作りました。それから手作りのトマトソースを塗って、チーズとベーコン、松川村で取れたピーマンを入れてピザ窯で焼きました。それを食べてみたらすごくおいしく、体験交流館の人達に教えてもらいうまくできました。



《松川村北部地区子ども会育成会 梨子田希美さん》

私は、あまりおやきが好きではありませんでしたが、粉をあわせて手の中で丸めて上手に具を入れることができたなら、とても食べたい気持ちになりました。野沢菜や切干し大根は知っていましたが、くるみ味噌は初めてで甘辛くてくるみのコリコリした感じがおいしかったです。ホットプレートで手軽に作れて家でも作りたいと思いました。



《松川村北部地区子ども会育成会 坂本康太郎さん》

私は、火起こしの事を発表します。火起こしは得意な方でしたが、燃えやすい物から火を移すのが大変でした。そしてすぐに消えてしまいました。でも、うちわで下からあおたらまた火がついたので、空気を下から入れたら火はより燃えるんだって思いました。火には空気が大事なんだって知りました。

《松川村北部地区子ども会育成会 下屋和香さん》

今回のお楽しみ会をしてみて、体験交流館敷地内で収穫した食材を使い、おいしいものを作ってみんなで楽しく食べられた事、普段体験できない火起こし体験をさせてもらい、地区のみんなと充実した1日を過ごすことができ、夏の思い出を作ることができました。

白馬村の発表 《白馬村どんぐり区子ども会の皆さん》

『ウォーターフェスティバルin白馬に参加して』

《白馬村どんぐり区子ども会 稲垣沙那さん 稲垣志信さん》

志信 8月6日に「第1回ウォーターフェスティバルin白馬」が白馬ジャンプ競技場で行われました。今年初めて行う行事です。ウォータースライダー、大中小さまざまなプール、水上スラックライン、トランポリン、ポイポイバトラーなどの10種類くらいの遊びが用意されていました。

沙那 一番に紹介したいのが、ポイポイバトラーです。ポイポイバトラーというゲームは、金魚すくいを使う「ポイ」を頭の前に付け、1回のゲームで2人組の4つのチームが水鉄砲で打ち合い、早く相手のポイを破った方が勝ちというゲームです。私たちもゲームに参加しました。

志信 ぼくは最初プールを泳いでひゅーっとやると思っていたけど違いました。水をポイに当てるのが難しかったです。

沙那 ポイを狙って打ちましたが、射程が短くて、ポイを打とうと相手に近づく瞬間が一番ドキドキしました。よけるのが難しく、負けてしまいましたが意外と難しく、こんなに激しく水鉄砲で撃ち合うことは今までなかったので、すごく楽しかったです。ちなみに大人も参加していて、子どもも大人も一緒に戦えるのが面白いなと思いました。



志信 次に、ウォーターライダーは、ジャンプ選手が着地する場所に用意されていました。シートが敷かれていて水が流され、その上を滑ります。お尻で滑ったり、頭から滑ったり、ツルツルだったので横になったり転がったりで、なかなかバランスが取れませんでした。友達と手を繋いで降りたらすごく速くなってぶつかってしまいました。

志信 プールエリアには、円形の大中小5つのプールがありました。一番大きなプールは水深 80cm ほどありました。水鉄砲やボール遊びができたりして、どのプールも大混雑していました。

沙那 他にもミニジャンプ台でジャンプ体験、サイバーホイールなどいろんな遊びがあり、まるで小さなテーマパークで遊んでいるようでした。しかも普段は入ることができないジャンプ台の人工芝の上での遊びは、夏のこの時期にしかできない体験だなと思いました。本当に楽しかったです。来年も参加したいと思います。



小谷村の発表 《小谷村青少年育成会》

『JR大系線に乗って、水族館へ行こう！』

JR大系線に乗って上越市水族博物館うみがたりへ日帰り弾丸ツアー。参加者はなんと100名超え！！保護者の皆さんもありがとうございました。



○クリスマス会

クリスマス会実行委員会（中学生有志）が中心となり、子どもも保護者も楽しめるクリスマス会を企画してくれました。



池田町の発表 《池田町高瀬橋南地区育成会の皆さん》

『とんぼ玉づくり体験をして』

僕たちは、育成会の行事で池田町にある、とんぼ玉体験工房ショーで、とんぼ玉作りをしました。

みなさんは、とんぼ玉を知っていますか？とんぼ玉は、色ガラス棒を卓上バーナーで溶かして、先っぽに薬が付いている鉄の棒に巻き付けて作る、穴のあいた小さなガラス玉の事です。

初めに工房の人から作り方の説明を聞いた時は、難しそうのでできるかな？と少し不安になりましたでも、やってみるとガラスが溶ける様子や棒に巻き付ける所がとても楽しかったです。失敗もしましたが、工房の人が優しく一緒に作ってくれたりして嬉しかったです。

みんなも「上手くできた」「綺麗だね」「あ～失敗した」などと言いながら楽しそうに作っていました。

できたとんぼ玉は水で洗った後、チョーカーやストラップ、ブレスレットなど好きなパーツを一つ選んでしあげました。

僕は根付けにしました。自分で作ったとんぼ玉が作品になって嬉しかったです。

大切にしたいです。



市町村事業報告

大町市

令和5年度 大町市の各地区子ども会育成協議会の特色ある事業

<p>大町地区 さかなつかみ大会</p>	<p>平地区 カヌー体験</p>	<p>常盤地区 子ども球技大会</p>
		
<p>夏休みの恒例行事「さかなつかみ大会」を市内越荒沢堰親水公園で開催しました。</p> <p>令和8年度の小学校の再編を見据え、大町地区と平地区との合同で開催し、250人にご参加いただきました。</p> <p>800匹のイワナやニジマスが放流され、最初は苦戦していましたが、そっと近づいたり、端に追いやったり、工夫を凝らして捕まえようとする子どもたちの姿が印象的でした。</p>	<p>平地区子ども会育成協議会では、毎年子ども達の夏休みに木崎湖でカヌー体験を行っています。この体験は平地区ならではの特色ある事業です。年々暑くなる夏ですが水上でのこの体験はととても気持ち良く行うことができます。</p> <p>また、今年は余った時間で湖に飛び込んで遊んだり、SUP体験も行ったりして、貴重な体験を楽しみ満足していました。今後も、このような子ども達が楽しんで、成長に繋がる行事を継続して行ってきたいです。</p>	<p>今回、球技大会の復活にあたり、低学年も含め、できる限り多くの子ども達に参加して欲しいと思案していたところ、南小学校では5年生が中心となり学校内外で「ポッチャ」の輪を広げようと活動していることを知り、新たな競技種目として採用しました。大会当日は、100人を超える参加があり、はじめは思いどおりに投げられず、涙を見せる子どももいましたが、ゲームを重ねるにつれ接戦が増え、体育館のそこかしこで大きな歓声が響き渡りました。</p>
<p>社地区 社地区子ども体験学習会</p>	<p>八坂地区 郷土ふれあい体験学習</p>	<p>美麻地区 夏休みお手伝いし隊</p>
		
<p>子ども体験学習会は、社地区子ども会が毎年企画しており、大町市の子ども体験学習号を利用して、安曇野ちひろ美術館の見学と国営アルプスあづみの公園大町松川地区での体験学習を行いました。ちひろ美術館では、黒柳徹子さん作の「窓際のトットちゃん」の世界観を体験し、いわさきちひろの平和への願いが込められた作品に触れました。その後移動し、国営公園では物づくり体験で森のフレーム等を作った後、食体験で煎餅づくりをしました。</p>	<p>八坂に伝わる郷土文化を学び、地域のお年寄りとの交流を図ることを目的とした「郷土ふれあい体験学習」を12月2日(土)に八坂公民館他3会場で開催しました。</p> <p>「竹細工」「わら細工」「灰焼きおやき」「そば打ち」「木工ワークショップ」「木工クラフト」「青竜太鼓」の7ブースに分かれ110名が参加しました。</p> <p>子ども達だけでは戸惑うこともありましたが、親子で力を合わせてひとつの作品を完成させていました。</p>	<p>「お手伝いし隊」は、美麻地区子ども会育成協議会、美麻公民館、美麻地区社会福祉協議会の共催で、長い間続く行事です。高齢者や地域の皆さんのお役に立ち、子どもたちが楽しみながら参加できるボランティア交流体験を毎年計画しています。今年の夏休み期間中は、美麻診療所に通う患者さんが少しでも元気が出るようにと、飾り作りを皆で頑張りました。今回作った飾りは、現在、美麻診療所に飾られ、来院する患者の皆さんの癒しとなっています。</p>

池田町

池田町公民館で年間通して行われる講座の一つに、「ふるさとチャレンジ塾（通称：ふるチャレ）」があります。

ふるさとチャレンジ塾は、町内の小学4年生から中学2年生までを対象とした講座で、活動を通じてリーダー育成や池田小・会染小の交流、地域学習といった学校だけでは学べない「社会教育」を意識した講座となっています。

10月7日・8日に、令和5年度第7回目のふるさとチャレンジ塾「ふるチャレキャンプ」を開催しました。

1日目は交流センターかえでで、食事づくり、防災についての学習、暗闇ゲーム、ボードゲームなどをおこない、自分たちで作ったダンボールハウスに泊まりました。2日目はお寺で座禅体験などをしました。

大人はなるべくサポートにまわり、子どもが自分たちで考えながら行動するよう心掛けました。皆とても楽しかったようで、いい思い出になりました。



松川村

令和5年度の松川村北部区は2年生から6年生まで7人の子ども達があります。少人数ですが、保護者含め集まる時にはいつも和気あいあいと活動しています。

夏のお楽しみ会は村内にあるちひろ体験交流館を利用させていただきました。事前打ち合わせの際・おにぎり作り・飯盒炊爨・おやき作り・ピザ作りといくつか体験できる物を提案して頂きました。子ども達にどれをやってみたいかを聞き、子ども達の希望で・おやき作り・ピザ作り・火おこし体験に決まりました。

当日は体験館にいる地域の方から教えてもらいながら、地元の食材を使いとても美味しく出来上がり皆で楽しく食べる事が出来ました。

夏休みには奉仕活動後にラジオ体操を行ないました。

12月は三九郎の組み立て、1月には三九郎を行うことが出来ました。12月の組み立てでは自分達で小さいのが作りたいと地区の方々や保護者からアドバイスをもらいながら組み立てをしていました。

これから益々子どもが減ってしまう北部区ですが、これからも一層地域の方との関わりを大事に、伸び伸び子ども達が活動していけたらと思います。



白馬村

白馬村子ども会育成会連絡協議会と白馬村公民館の共催で、10月14日「あそびまなびフェス2023」を開催しました。

そもそもの始まりは、長引くコロナ禍で失われた遊びや学び、交流の機会をつくり、子どもから大人まで幅広い世代が集い、様々なプログラムを楽しむ企画として2022年に開催しました。予想を上回る反響をいただき、今年度も開催してほしいという声から、昨年に引き続いての開催となります。

地域の住民や団体、事業者から、多様な体験ができるプログラム・ワークショップ、多数の出店をいただき、また好天にも恵まれたことから今年も約600人の来場者が思い思いに楽しんでいました。

小さな子から小学生、中学生がみんな仲良く遊び、中には大勢が押し寄せるアクティビティもありましたが、しっかり順番待ちをし、気持ちよく遊ぶことができていました。ヤギや馬とのふれあい、芋ほり体験や収穫したいものは焼き芋に。自然の中での体験や遊び、交流をとおして、子どもたちはいつしか様々な学びを経験したことと思います。

冬には、ミニジャンプやクロスカントリー、雪原を歩くスノーシュー体験など雪国ならではの遊びを取り入れた「ノルディックスキー子どもの日」が開催されます。



小谷村

令和5年度は、昨年度までのコロナ禍を乗り越え、予定していた行事を開催することができました。地域の子供達と大人と一緒に楽しめる育成会行事、やはり良いものですね。段々と子供達の人数が少なくなってきました。小谷っ子がこの地域で楽しく暮らし、進学や就職で小谷を離れても、「昔、みんなで楽しく遊んだよなあ〜」と思い出してもらえるよう、子供達の笑顔を励みにこれからも活動を続けていきたいと思えます。

○親子カヤック体験

久々の親子カヤック体験の開催。お天気もギリギリ持ち堪えてくれ、楽しく体験することができました。



○高森町交流キャンプ

夏休み初日、高森町交流キャンプへ。たくさん友達ができ、貴重な経験となりました。



子ども会の皆さん

全国子ども会 安全共済会

に加入しましょう!

子ども会は、子どもたちに生きる力を育み、
体験を通して感動が生まれ、輝く夢を与える活動を行なっています。

子ども会の活動、取り組み内容

- ☆仲間遊び
- ☆エコ活動
- ☆緑化運動
- ☆スポーツ活動
- ☆慰問・訪問活動
- ☆食育活動
- ☆生活習慣向上運動
- ☆伝承芸能活動
- ☆募金活動

◆子ども会活動を安心して行うために、共済に加入することを忘れずに!

加入時費用には、共済掛金の他に賠償責任保険料が含まれています。活動中に会員本人が負ったケガや病気の他に、誤って第三者にケガを負わせてしまったり、物を壊したりしたときも補償を受けることができます。

定期的に、そして事業開始前から事業実施中にもKYT(危険予知トレーニング)を行い、事前の会場下見等による安全・安心を確保しましょう。

全国子ども会安全共済会に加入するには

- ・契約した市町村(地区)の子ども会連合組織に、単位子ども会ごとまとめて申し込んでください。
- ・単位子ども会、市町村(地区)子連、長野県子連に所属する者が次の加入時費用を納めることが必要です。

☆加入時費用(1人) … 150円(10月1日以降加入の場合…140円)

内訳 全国子ども会安全共済掛金…50円(10月1日以降加入の場合…40円) } 70円
 全国子ども会連合会運営費…20円(子ども会賠償責任保険料を含む) } (10月1日以降加入の場合…60円)
 長野県子ども会育成連合会運営費…80円
 (各種事業、安全教育、共済金請求事務、事前審査、名簿管理等の費用として)

長野県加入者数の状況

○令和5年度 加入者数

区分	乳幼児	小学生	中学生	高校生	指導者・育成者	ネット加入	計
加入者数	5,883	58,648	18,242	742	30,134	1,638	115,287

<問い合わせ先>

一般社団法人 長野県子ども会育成連合会
TEL : 026-225-0126 FAX : 026-225-0133

大北地方子ども会育成連絡協議会規約

(名称)

第1条 この会は、大北地方子ども会育成連絡協議会という。

(目的)

第2条 この会は、大北地方の市町村子ども会育成会の連絡提携を図り、もって青少年育成活動の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的達成のため、次の事業を行う。

- 1 市町村子ども会育成会の連絡提携に関すること。
- 2 地区育成会の活動促進に関すること。
- 3 青少年健全育成に関する家庭生活の充実、環境浄化等地域社会の意識の高揚を図ること。
- 4 子ども会活動に対する青少年指導団体の協力参加の促進を図ること。
- 5 その他、この会の目的達成のための必要な事業を行う。

(組織)

第4条 1 この会は、大北地方の市町村子ども会育成会及びこれに準ずる地区育成会（以下「市町村 子ども会育成会等」という）をもって構成する。
2 市町村子ども会育成会等は、その会長をこの会の委員として選出する。

(役員)

第5条 この会に次の役員をおく。

会長 1名 副会長 2名 監事 2名 顧問・参与 若干名

(役員職務)

第6条 1 会長は、会を代表して会務を総括する。
2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
3 役員は、役員会を構成し、議案の審議決定、事業の企画立案及び事業の実施にあたる。
4 監事は、この会の会計及び業務の執行状況を監査しその結果を会議に報告する。
5 顧問・参与は、この会の運営について助言する。

(役員選出)

第7条 1 会長・副会長は、委員の互選による。
2 監事は、役員総会において選任する。
3 顧問・参与は、会長が必要と認めたときは役員総会に諮って委嘱する。

(役員任期)

第8条 役員任期は2年とする。なお、欠員が生じたときは所属団体から補選し、その任期は前任者の残留期間とする。ただし、再選を妨げない。

(会議)

第9条 1 この会議は役員総会・役員会とし、会長が召集する。
2 役員総会は、市町村子ども会育成会等の会長、副会長及び事務局長で構成し、過半数の出席で成立するものとする。また、出席できない場合は会長に議決権を委任できるものとする。

(事務・事業の支援)

第10条 事務局は当面の間、大田市教育委員会生涯学習課内に置き、この会の事務・事業の支援・補助を行う。

(経費)

第11条 この会に要する費用は、会費・補助金・寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(会計)

第12条 この会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(附則)

- ① この規約は、昭和53年3月1日から施行する。
- ② この規約の一部改正は、昭和55年7月30日から施行する。
- ③ この規約の一部改正は、昭和57年6月13日から施行する。
- ④ この規約の一部改正は、昭和63年6月2日から施行する。
- ⑤ この規約の一部改正は、平成6年5月12日から施行する。
- ⑥ この規約の一部改正は、平成15年5月8日から施行する。
- ⑦ この規約の一部改正は、平成19年5月14日から施行する。
- ⑧ この規約の一部改正は、平成20年6月13日から施行する。
- ⑨ この規約の一部改正は、平成21年5月19日から施行する。
- ⑩ この規約の一部改正は、平成29年8月23日から施行する。
- ⑪ この規約の一部改正は、令和5年5月19日から施行する。

令和5年度 子ども会だより

らいちょう 62号

令和6年3月発行

編集・発行 大北地方子ども会育成連絡協議会
代表者 百瀬 泰慶